

【市長賞】いただきますに感謝を

丈山小学校

長谷川

心風

「いただきます。」
給食の前に必ずみんなでこの言葉を言ってから楽しい給食が始まります。

私は、あたり前の様に使ってきたこの言葉には色んな想いが込められていると思っています。

特に私が六年間給食を食べてきて感じた想いは、給食に関わっている全ての人達へのありがとうという感謝の想いです。

農家や畜産に関わる人達、水産に関わる漁師さん達、食材等を運搬する運送業の人達など様々な人達が私達の為に給食を用意してくれていると思っています。

私は、ただ給食に関わる人達に感謝する想いだけでは駄目だなと思いました。

どうしたら良いかなと考えていたら、なんとこの夏休みに安城市給食センターの体験見学の応募があったのです。給食センターには行った事がありませんでしたので私は、早速応募してみたら見事当選したのです。

どんな事をしているか、しっかりと感謝を伝えられるかと体験当日が楽しみでした。

そしていよいよ体験の日です。
私は今回の体験を通して今まで以上に、給食に対して感謝の想いが大きくなりました。

調理員さんは、料理を作るだけでなく、たくさんの食缶などを準備して各小学校そして各クラス

ごとに分量を測り細かく仕分けていました。たくさんの量の食材にも一つ一つ隅々まで確認と洗いを行っていました。

私は、こんなにも大変で細かな仕事をどうして手作業で行っているのか質問してみると、調理員さんはすごい答えをくれました。

「大変だけど自分達の手や手で確認してみんなが美味しく食べられる様に愛情を込めて作っているんだよ。」

改めて、毎日本当にありがとうございますと心から伝えました。

栄養士さんは、食材がどこから来たのか、どんな栄養があるのかカロリー計算までして毎日の献立表を考えてくれています。

私は、今日は何かなと給食の献立表を見るのが好きです。これからは栄養士さんが、私達の為を思っで献立表を作ってくれているという感謝の気持ちで献立表を見たいです。

給食センターの人達の仕事を見て、話を聞いて、こんなにも私達の身近に給食に関わる人達がいた事やその仕事の大変さ、丁寧さに驚き感動しました。私は、給食委員なので給食センターの人達が私達の健康の為に毎日頑張っている姿をみんなに伝えて、

「いただきます、ごちそうさまでした。」
に感謝を込めて、これからも愛情たくさんの給食をみんなと一緒に美味しく、楽しく食べたいです。